05 – REPORT

重要課題への具体的活動

01 サステナブル素材の使用促進

オンワードコーポレートデザインはSDGsへの対応として、サステナブル素材※の調達を推進しています。

※サステナブル素材：再生PET、バイオマス由来、原液着色、オーガニック、生分解性などを一定数使用した素材

取り組みと実績

事業	目標	達成指数	実績
ワークスタイルデザイン	サステナブル素材の企画提案の促進	①（旧）2030年度までに素材の100%を持続可能な調達にする （新）2030年度までに新規顧客の素材の100%を持続可能な調達にする	●サステナブル素材 2020年度 18.8%（643,817M） 2021年度 21.5%（580,281M） 2022年度 25.2%（602,425M） 2023年度 26.3%（572,433M） 2024年度 31.8%（891,583M） ●新規顧客のサステナブル素材 2023年度 45.5%（365,260／802,224M） 2024年度 36.5%（662,017／1,814,605M）
ソリューションデザイン（スペースクリエイト）		②サステナブル素材の調達の推進	●サステナブル素材の使用率 2023年度 27.6%（1,630／5,910㎡） 2024年度 42.1%（1,998／4,750㎡）

※2023年度から達成指数を、「すべての素材の調達」から「新規顧客の素材の調達」へ変更しました。
※2024年度からスペースクリエイト事業のサステブル素材の使用率の算出方法は総床施工面積に対してのサステナブル素材の使用比率に算出方法を変更しました。

サステナブル素材の使用率は着実に増加しています。新規顧客のサステナブル素材の使用実績数も大幅に増加しました。漂着ペットボトル由来素材「UpDRIFT（アップドリフト）」の実績としては、ドトールコーヒー様、FANCL様の制服で着用が開始されました。着用される皆様の環境問題の意識向上、誇りの醸成やエンゲージメントの向上にもつながってきています。

※UpDRIFT®、アップドリフト®は豊島株式会社の商標です。

※エコディア®は東レ株式会社のバイオマス由来ポリマー素材・製品の統合ブランドです。

※エコペット®は帝人フロンティア株式会社のリサイクルポリエステル素材・製品の商標です。
プラントペット®は、植物由来成分を原料の一部として使用した帝人フロンティア株式会社のポリエステル素材の商標です。

05 – REPORT

重要課題への具体的活動

02 梱包形態における環境負荷低減

製品だけではなく、梱包資材の不使用や環境配慮型（FSC認証の活用やバイオマス由来、生分解性資材）へのシフトを推進します。

医療従事者向けウェア「ラフィーリア」

取り組みと実績

事業	目標	達成指数	実績
ワークスタイルデザイン	梱包材の削減もしくは持続可能な調達	①（旧）2025年度までに梱包材の100%を持続可能な調達にする （新）梱包材の持続可能な調達の促進 環境配慮型包装材使用率（環境配慮型包装材調達数／プラ袋入り全調達数）	●環境配慮型包装材使用率 2022年度 9.8%（280,315点） 2023年度 8.0%（230,321点） 2024年度 7.1%（242,122点）
ソリューションデザイン（インサイトセールス）（タイアップセールス）		②年間で使用されるプラ袋の削減 プラ袋不使用率（プラ袋不使用調達数／全調達数） （インサイトセールス）	●プラ袋不使用率 2020年度 22.0%（2,688,196点） 2021年度 20.2%（2,180,300点） 2022年度 33.7%（3,856,838点） 2023年度 31.4%（3,402,893点） 2024年度 35.5%（4,141,375点）
		③マイバッグキャンペーンの推進 （タイアップセールス）	2022年度：マイバッグキャンペーン開催　20件 2023年度：マイバッグキャンペーン開催　19件 2024年度：マイバッグキャンペーン開催　15件
		④梱包材の持続可能な調達の促進 環境配慮型包装材使用率（環境配慮型包装材調達数／プラ袋入り全調達数） （インサイトセールス）（タイアップセールス）	インサイトセールス ●環境配慮型包装材使用率 2020年度 0.5%（55,820点） 2021年度 1.0%（84,626点） 2022年度 5.6%（428,792点） 2023年度 0.4%（30,000点） 2024年度 0.2%（12,800点） タイアップセールス ●環境配慮型包装材使用率 2020年度 0.0%（0点） 2021年度 80.0%（7,200点） 2022年度 100.0%（5,100点） 2023年度 100.0%（3,300点） 2024年度 100.0%（2,800点）

※2023年度から達成指数①を、「2025年度まで」から「使用率を上げていく」へ変更しました。

医療従事者向けウエア「ラフィーリア」のすべての包装材は原料の一部にバイオマス由来のポリプロピレンを使用した袋の使用を継続しています。企業や学校法人向けユニフォーム、ソリューション事業においても、導入を推進しました。またタイアップ事業のマイバック持参のキャンペーンや環境配慮型包装材の使用は継続しています。

05 – REPORT

重要課題への具体的活動

03 環境に配慮した社内設備・業務の促進

事業活動における電力や紙の使用についても環境への影響があることを意識し、環境負荷低減に取り組んでいきます。

取り組みと実績

事業	目標	達成指数	実績
経営・管理	①東京本社ビルの電気使用量の削減 （再生可能エネルギーへの移行）	①東京本社ビルの電気使用量	●電気使用量 2020年度 319,328kwh 2021年度 282,100kwh（前年度比**88.3%**） 2022年度 298,944kwh（前年度比**106.0%**） 2023年度 283,902kwh（前年度比**95.0%**） 2024年度 338,108kwh（前年度比**119.1%**）
	②東京本社ビルの紙の使用量の削減 （再生紙への移行）	②東京本社ビルの紙の購入量	●紙の購入量 2020年度 839,750枚 2021年度 729,250枚（前年度比**86.8%**） 2022年度 668,000枚（前年度比**91.6%**） 2023年度 685,500枚（前年度比**102.6%**） 2024年度 698,250枚（前年度比**101.9%**） ※再生紙使用率6.7%

東京本社ビルの電気は、再生エネルギーを継続して使用しています。電力および、紙の使用量ともに前年より増えておりますが、今後も再生エネルギーの使用を継続するとともに、更なるデジタル化・ペーパーレス化による紙の使用量の削減に努めます。

05 – REPORT

重要課題への具体的活動

04 無駄のない受注生産・計画生産による資源の有効利用と廃棄削減

オンワードコーポレートデザインは、大量生産・廃棄問題の解決に向けて、無駄のない受注生産・計画生産を推進します。そのために、従業員教育やデジタルツールの採用、品質の向上に努めます。

取り組みと実績

事業	目標	達成指数	実績
ワークスタイルデザイン	①廃棄される製品及び生地を削減する	①年間で廃棄される製品及び生地の廃棄発生率の削減（廃棄数／全調達数）	●廃棄製品発生率（調達数に対しての比率） 2020年度 1.0% 2021年度 0.6% 2022年度 0.5% 2023年度 0.8% 2024年度 1.2% （発生数に対して100.0%の再資源化を継続） ●廃棄生地発生率（調達数に対しての比率） 2020年度 0.07% 2021年度 0.6% 2022年度 0.3% 2023年度 0.7% 2024年度 0.6% （発生数に対して100.0%の再資源化を継続）
	②従業員の意識向上	②従業員向けに、無駄のない生産及び品質向上に関する研修を毎年度実施（受講率の開示）	意識向上の社内勉強会を開催
	③廃棄削減につながる、在庫管理、サイズ集計等のシステムを構築する	③UOSの活用、受発注システムの構築	デジタル採寸ツール「UOS」導入及び活用 3DCADシステム「CLO」導入及び活用

ワークスタイルデザイン事業の製品の廃棄においては発生率が増加となりましたが、100%再資源化を継続して行うことができました。今後計画生産の精度を高めるとともに、デジタルでユニフォームのサイズをレコメンドするデジタル採寸ツール「UOS」、バーチャル上で立体デザインを組み上げる事が可能な3DCADシステム「CLO」の活用を継続して推進していくこと等により、無駄のない受注生産・計画生産に取り組みます。最終的に廃棄対象となってしまった製品・生地については再資源化処理を継続して行います。

株式会社東横イン様の廃棄対象の制服を時計にアップサイクルしました。

デジタル採寸ツール「UOS」

3DCADシステム「CLO」

CLO Virtual Fashion, Inc. owns all rights to the avatar displayed.

https://www.clo3d.com/

05 – REPORT

重要課題への具体的活動

04 無駄のない受注生産・計画生産による資源の有効利用と廃棄削減

オンワードコーポレートデザインは、大量生産・廃棄問題の解決に向けて、無駄のない受注生産・計画生産を推進します。そのために、従業員教育やデジタルツールの採用、品質の向上に努めます。

取り組みと実績

事業	目標	達成指数	実績
ソリューションデザイン（インサイトセールス）（スペースクリエイト）	④廃棄される製品及び生地を削減する	④-1（インサイトセールス） 年間で廃棄される製品及び生地の廃棄発生率の削減（廃棄数／全調達数）	●廃棄製品発生率（調達数に対しての比率） 2020年度 0.6%（発生数に対してのリサイクル処理率94.0%） 2021年度 1.0%（発生数に対してのリサイクル処理率48.0%） 2022年度 0.2%（発生数に対してのリサイクル処理率86.0%） 2023年度 0.3%（発生数に対してのリサイクル処理率94.5%） 2024年度 0.4%（発生数に対してのリサイクル処理率92.3%）
		④-2（スペースクリエイト） 年間で廃棄される製品の削減（オフィスバスターズの活用）	●オフィスバスターズの活用件数 2023年度 3件 2024年度 0件

インサイトセールス事業においては廃棄製品発生率が増加となりました。継続して品質の向上と検品体制の強化をおこない、品質不良による廃棄品の削減に努めます。

什器等のリユースを推進する「オフィスバスターズ」

05 – REPORT

重要課題への具体的活動

05 あらゆる労働者の豊かで働きがいのある労働と、企業・法人文化醸成への寄与

06 あらゆる着用者の安全で安心、衛生的で快適な労働環境の促進

オンワードコーポレートデザインはユニフォームを通じて働き方や学び方をデザインします。

取り組みと実績

事業	目標	達成指数	実績
ワークスタイルデザイン	お客様満足度の向上	お客様満足度アンケートでの評価	新ユニフォーム導入時におけるアンケートパッケージ提案の推進

JR東海リテイリングプラス様、エアージャパン様でユニフォーム導入後のアンケートを実施することができました。人手不足や生産性向上が企業の重要な課題となる中、従業員の意向をユニフォームに反映し、採用や働きやすい環境づくりにつなげるユニフォームのコンサルティングサービスの提供を開始しました。社名が表す、企業、法人をデザインするコンサルティングサービスを提供していきます。

JR東海リテイリングプラス様

「素材の機能性への改良ポイント」が明確になり、今までにない斬新なデザインで「おしゃれな印象になった」と意見が見られました。

エアージャパン様

ユニフォームを通じて「サステナビリティ」「ダイバーシティ」「日本らしさ」など、エアージャパンらしさの醸成につながりました。

05 – REPORT

重要課題への具体的活動

07 女性や妊産婦含む、多様な人々の健康的で快適な労働環境の促進

働く女性のためのマタニティウェアや女性の体形を考慮した作業服のパターンなど、オンワードコーポレートデザインは女性活躍に寄与するユニフォームづくりを推進します。

取り組みと実績

事業	目標	達成指数	実績
ワークスタイルデザイン	女性や妊産婦の働きやすさに貢献するユニフォームの普及促進	女性や妊産婦の働きやすさに貢献するユニフォームの採用顧客数	2020年度 4件 2021年度 2件 2022年度 5件 2023年度 5件 2024年度 6件 詳細は下記参照

2024年度

業界	具体的なアイテム	備考
建築	女性パンツ	新たに女性向けパターンを導入し、体形にフィットした働きやすいユニフォームを実現
建築	女性ワーキングウエア	
機械		
電子	マタニティウエア	妊産婦の働きやすさを考慮したアイテムの採用
機械		
医療	白衣マタニティウエア	

多様な人々の健康的で快適なより良い労働環境の促進のために、パターンやアイテムの工夫をした新商品の開発に向けて取り組んでいきます。

●おなかの部分のリブ使い＆ウエスト右内側のボタン付きのゴム仕様で、おなかの大きさにあわせて調整可能

●膝裏に切替えをつけて生地の余りを取ることで、後ろ姿がすっきり、また高い位置の切替えは脚長みせ効果も

05 – REPORT

重要課題への具体的活動

08 環境・社会に配慮した販促企画等による消費者意識の向上

国際認証のオーガニック素材やリサイクル素材を使用した環境負荷低減につながる製品を推進します。また、これらの製品での販促活動により、持続可能な社会形成への消費者意識醸成に努めます。

取り組みと実績

事業	目標	達成指数	実績
ソリューションデザイン（インサイトセールス）	環境・社会に配慮した販促品の提案・推進	エシカルな製品割合の増加 エシカルな製品調達率（エシカル製品調達数／全調達数）	●エシカルな製品調達率 2020年度 9.2%（1,125,960点） 2021年度 10.0%（1,078,960点） 2022年度 19.4%（2,217,149点） 2023年度 8.1%（875,870点） 2024年度 6.9%（808,402点）

付加価値の高い環境・社会配慮型の新しい取り組みに挑戦しました。役割を終えた学生服をアップサイクルし、来校者用のスリッパに変えることで有効活用することができました。（九里学園高等学校様）学校からは「これまで大切に着用してきた学生服がスリッパに生まれ変わる事に非常に驚いてます。真心込めて製作されたスリッパなので長く学校で活用いたします。」というコメントを頂きました。

05 – REPORT

重要課題への具体的活動

09 ワークライフバランスの充実

オンワードコーポレートデザイン社員のワークライフバランスの充実についてのモニタリングやサーベイを実施しています。

取り組みと実績

事業	目標	達成指数	実績
経営・管理	①育児・介護短時間勤務制度の利用促進	①育児・介護短時間勤務制度を利用した従業員数	●育児短時間勤務制度対象者の利用率 【女性】 2019年度 100.0% 2020年度 100.0% 2021年度 100.0% 2022年度 100.0% 2023年度 100.0% 2024年度 100.0% 【男性】 2019年度 (申請者なし) 2020年度 (申請者なし) 2021年度 (申請者なし) 2022年度 (申請者なし) 2023年度 (申請者なし) 2024年度 (申請者なし)
	②育児・介護休業制度の利用促進	②育児・介護休業制度を利用した従業員数	●育児休業制度対象者の利用率 【女性】 2019年度 100.0% 2020年度 100.0% 2021年度 100.0% 2022年度 100.0% 2023年度 100.0% 2024年度 100.0% 【男性】 2019年度 (申請者なし) 2020年度 (申請者なし) 2021年度 (申請者なし) 2022年度 (申請者なし) 2023年度 50.0% 2024年度 100% ●介護休業制度対象者の利用率 2021年度 100.0% 2022年度 100.0% 2023年度 100.0% 2024年度 100.0%
	③年間勤務日数の管理、時間外労働の抑制	③年間勤務日数及び時間外労働時間	●年間勤務日数 (休業制度利用者を除く社員の平均日数) 2019年度 242.7日 2020年度 239.9日 2021年度 237.2日 2022年度 235.6日 2023年度 225.7日 2024年度 226.1日 ●時間外労働時間 (社員の月平均時間) 2019年度 14.1時間／月 2020年度 8.1時間／月 2021年度 11.6時間／月 2022年度 13.7時間／月 2023年度 13.4時間／月 2024年度 13.1時間／月

育児短時間勤務制度、育児休業制度について、女性社員は継続して100%希望通り利用出来ています。男性社員の育児休業制度の利用については、初めて100%取得が実現しました。引き続き改正育児・介護休業法の社員の理解、意識向上を目指して推進していきます。また、業務効率化とワーク・ライフバランスの実現により生産性をあげることを目的とした、働き方を変化させていく「働き方デザイン」プロジェクトに取り組みました。途中段階ではありますが、業務マニュアル作成や役割分担表作成等のビジネス面での成果も出始めています。

05 – REPORT

重要課題への具体的活動

10 多様な社員の活躍推進（女性活躍推進）

働く社員のウェルビーイングと仕事との理想の両立を目指し、社内セミナー・ワークショップを実施しました。

取り組みと実績

事業	目標	達成指数	実績
経営・管理	多様な社員の活躍推進（女性活躍推進）	①全社員へのセミナー開催及びサーベイ実施	DE&I社内外相談窓口運営
		②管理職に占める女性社員の割合 ※係長以上	2021年度 8.2% 2022年度 12.3% 2023年度 13.9% 2024年度 13.9% 2025年度 14.3%

職場内障がい者サポーターの支援に取り組みました。定期的に、障がい者、外部有識者、職場内障がい者サポーターの3者でミーティングを重ねることで、職場環境の改善や、新たな業務に取り組むことができ、新しい気づきにつながりました。また、オンワードグループとして「D&I AWARD2024」に2年連続で参画し、4分類で最上位のベストワーク プレイスの認定を取得しました。ダイバーシティスコアは昨年より3ポイントアップの91点を取得できました。（㈱オンワードホールディングス、㈱オンワード樫山、㈱オンワードコーポレートデザイン、㈱オンワードデジタルラボ 4社にてエントリー）多様な社員の活躍推進に向けて今後も取り組んでいきます。

05 – REPORT

重要課題への具体的活動

11 人権の尊重

オンワードコーポレートデザインは企業活動から影響を受ける全ての人々の人権を尊重し、その責任を果たすことを目的として、2011年6月に国連人権理事会で採択された「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づく、「オンワードコーポレートデザイン人権方針」を定めています。

https://onward-cd.co.jp/company/humanrights/

取り組みと実績

事業	目標	達成指数	実績
経営・管理	社員の人権意識の向上(事業活動での人権への負の影響を特定・防止・軽減)	人権課題についての社員教育を実施(受講率の開示)	「2024日本ステークホルダー・エンゲージメントプログラム」「2024ビジネスと人権に関する国際会議」に参加し、業界における重要な人権課題の検証を実施。

前年に引き続き、CRT日本委員会が開催する「2024日本ステークホルダー・エンゲージメントプログラム」に参加しました。各NGO、NPOより企業活動を通じて侵害される人権課題とその背景について説明を受け、参加企業と「アパレル業界に重要な人権課題」の検証を行いました。業界における「アニマルウエルフェアの取り組みや廃棄段階におけるトレーサビリティの管理強化」を検証し、その内容を「2024ビジネスと人権に関する国際会議」において発表をしました。2025年度も引き続き、参加を予定しています。

05 – REPORT

重要課題への具体的活動

12 コミュニティへの貢献

オンワードコーポレートデザインは、被災者支援、医療福祉、千代田区の環境保全に関連する3つの活動団体への支援を推進します。

取り組みと実績

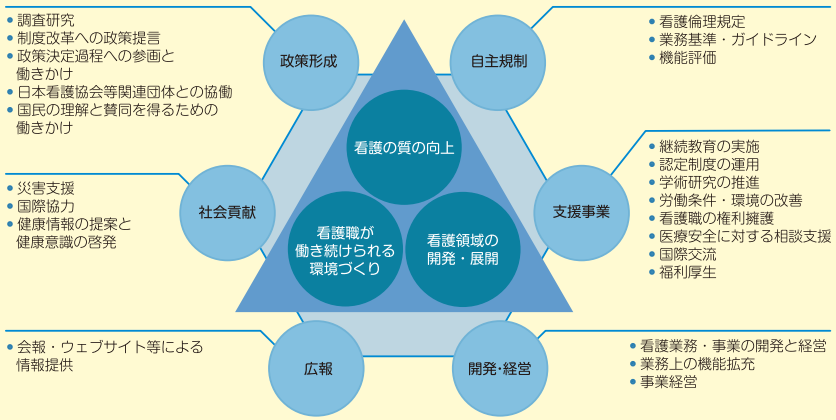
事業	目標	達成指数	実績
経営・管理	様々なコミュニティへの寄付	寄付制度の継続、寄付のテーマ・領域、寄付先の団体数、寄付の金額の開示	ジャパン・プラットフォーム：賛助会員（年会費50万円） 東京都看護協会：2021年度支援金30万円 2022年度支援金30万円 2023年度支援金30万円 2024年度支援金30万円 千代田区さくら基金：2021年度支援金10万円 2022年度支援金10万円 2023年度支援金10万円 2024年度支援金10万円

国内・海外での自然災害の被災者、紛争による難民に対しての支援活動を行うNGOを様々な形でサポートする中間支援団体である『ジャパン・プラットフォーム』、東京都在住・在勤の看護職が自主的に加入、運営し、教育・研究活動の支援、看護職の確保・定着等を目的として活動する『東京都看護協会』、千代田区の花であるさくらを永続的に管理、守る理念のもと、さくら管理者による樹木治療や養生、さくらサポーターによるさくらを守る活動にかかる事業の財源となっている『さくら基金』の3団体に支援をしました。2025年度も引き続き、この3団体への支援を通じて私達を取り巻く社会・環境への関心を深めるとともに、新たなコミュニティへの貢献についても検討していきます。

[ジャパン・プラットフォームの仕組みについて]

JPFは、個人・企業・NGO・政府が対等なパートナーシップのもとに協働し、日本の支援を届ける仕組みです。
平時より、4者が、強みや資源を生かして連携できるプラットフォームとして機能し、国内外の自然災害による被災者、紛争による難民・国内避難民に、迅速かつ効果的に日本から支援

[東京都看護協会　活動内容について]



[千代田区千鳥ヶ淵のさくら]

千代田区観光協会 東京大回廊写真コンテスト入選作品「ある春の朝の水鏡」三石 雄大氏

[東京都看護協会　会館での掲示について]

会館では寄附者及び賛助会員芳名を刻印した銘板が掲示され末永く顕彰

05 – REPORT

重要課題への具体的活動

13 個人情報をはじめとした情報セキュリティの徹底

オンワードコーポレートデザインは、お客様の体形データをはじめ、高度な個人情報を取り扱っています。そのため、情報セキュリティの社内浸透徹底のためのセミナーや、内部監査を実施しています。

取り組みと実績

事業	目標	達成指数	実績
経営・管理	オンワードグループ情報セキュリティポリシーに準じた管理運営	プライバシーマーク更新（2025年2月）による、社内監査、社内研修の実施（受講率の開示）	全社員に情報セキュリティ教育として研修及び確認テスト実施（受講率100.0%） 個人情報管理台帳及びリスク分析表を作成し内部監査を実施

9月に全社員を対象に、eラーニング形式の研修を行い、教育内容の確認テストを併せて実施しました。11月には個人情報管理台帳、及びリスク分析表の更新を含めて、各フロア責任者、支店責任者、課責任者にて内部監査（クロス監査）も行いました。2025年度も継続してプライバシーマークを取得していることの意味、各責任者の役割への意識を高めて、情報セキュリティへの取り組みを推進していきます。

05 – REPORT

重要課題への具体的活動

14 環境・社会に配慮したサプライチェーン

オンワードコーポレートデザインはサプライチェーンにおける環境や社会へのリスク分析を行い、それぞれに配慮した体制づくりを推進します。

取り組みと実績

事業	目標	達成指数	実績
ワークスタイルデザイン／ソリューションデザイン（タイアップセールス）	①取引先工場の労働環境及び環境負荷のモニタリング推進	①工場監査数の増加（2019年度比）やリモートでの労働環境、環境負荷モニタリングの仕組み構築	①CSR監査実施（8工場）
	②リサイクルシステムの推進	②-1リサイクル対応ユーザーの増加（ワークスタイルデザイン） ②-2リサイクルした重量の増加（タイアップセールス）	②-1 リサイクル対応累計ユーザー数（ワークスタイルデザイン） 2020年度 **14ユーザー** 2021年度 **17ユーザー**（前年度比121.4%） 2022年度 **17ユーザー**（前年度比100.0%） 2023年度 **18ユーザー**（前年度比105.9%） 2024年度 **23ユーザー**（前年度比127.8%） ②-2 リサイクルした重量・件数（タイアップセールス） 重量 2021年度 **420Kg** 2022年度 **577Kg**（前年度比137.4%） 2023年度 **402Kg**（前年度比69.7%） 2024年度 **396Kg**（前年度比98.5%） 件数 2021年度 **9件** 2022年度 **37件**（前年度比411.1%） 2023年度 **44件**（前年度比118.9%） 2024年度 **39件**（前年度比88.6%）
ワークスタイルデザイン	③染色工程における有害化学物質の不使用徹底	③独自に定義した規制物質リストの作成と、不使用確認書の作成及び締結の実施	③2021年度：第三者検査機関の協力のもと、染色工程における規制物質リストを作成 2022年度：サプライヤー様への説明会、聞き取り調査実施 2023年度：不使用確認書締結（11社）／社内勉強会開催 2024年度：社内勉強会開催

①CSR監査として、8工場の監査を実施しました。
②リサイクルシステムの推進については、ワークスタイルデザイン事業において、前年度比127.8%と向上しました。また、タイアップセールス事業においては、スーツのリサイクルシステムの取り組みが定着しました。今後リサイクルに対するキャパシティーの確保や、リサイクル による環境負荷軽減の可視化を進めます。
③11月にPFASを代表例とした有害化学物質の現状と取り組みについての社内啓発の為に勉強会を開催しました。

05 – REPORT

重要課題への具体的活動

15 コンプライアンス遵守の徹底

取り組みと実績

事業	目標	達成指数	実績
経営・管理	オンワードグループコンプライアンス規定に準じた管理運営	コンプライアンスマニュアルの研修を全従業員を対象に、年に一度実施（受講率の開示）	パワハラ研修動画を配信 セクハラ研修動画を配信

5月にパワハラについて社員全員の理解向上の為のe-ラーニングを実施しました。9月にセクハラについてもe-ラーニングを実施しました。ハラスメントについては、予防について学ぶことで社員のリテラシーを強化し、組織としてハラスメントを起こさない風土を醸成していきます。

16 コーポレートガバナンスの充実

取り組みと実績

事業	目標	達成指数	実績
経営・管理	①経営会議によるSDGsの監督 ②オンワードグループのガバナンス体制と内部統制規定に準じた経営・管理	経営会議にSDGsの取り組みを定期的に報告する	四半期に一度、SDGs委員会によるモニタリングと分析を行い経営会議にて報告

マテリアリティの進捗を各事業に所属している従業員で構成されたSDGs委員会メンバーでモニタリングを行いました。SDGs委員会にて四半期ごとの内容の確認、分析を行い経営会議で報告する ことにより、当社の様々な課題の把握と各事業でのサステナブルソリューションの推進に繋がりました。6月には不正会計や不正行為についてのe-ラーニングを実施しました。

17 リスクと危機の管理

取り組みと実績

事業	目標	達成指数	実績
経営・管理	オンワードグループのリスク管理規定に準じた経営・管理	各リスク対応マニュアル（オンワードグループリスク管理規定対象一覧）をもとに、従業員への研修を毎年実施（受講率の開示）	フリーランス新法対応についての研修動画を配信 著作権・商標権についての研修動画を配信

11月に施行のフリーランス新法対応についてのe-ラーニングを実施しました。著作権・商標権についてのe-ラーニングも実施しました。引き続き顧問法律事務所と連動し、リスクと危機管理の徹底および、社員研修の充実に向けて取り組んでいきます。

© 2023 Onward Corporate Design Co. Ltd.,